



島教協

《すべては「子どもたちのために」》

情

報

http://
www.kyougikai.orgE-mail
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax:0853(22)7762 代表者 吉田 修 編集人 岡 利行 No.709

年頭所感

会長 吉田 修

新年明けましておめでとうございます。島教協会員の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのことと思います。

いよいよ平成の時代が終わるということで、昨年末には平成の三十年間を振り返る番組がたくさん放送され、あんな事もあった、こんな事もあったと懐かしく思い出しながら見ていました。政治、経済、文化、各方面で目まぐるしく大きな変化が次々と起こった三十年間だったように思います。それは教育の世界でも同じで、時代の変化に呼応しながら、教育の内容や方法、子どもを取り巻く環境、教職員の働く環境など大きく変化してきました。きっと今後も変化し続けていくことでしょう。

私たちが島教協も平成の三十年間の間に様々な出来事がありました。大きなものをいくつか挙げてみます。平成二年に結成三十周年を迎え、記念大会では永六輔氏に講演をしていただきました。平成九年には全日教連教育研究全国大会（島根大会）を、平成二十一年には教育シンポジウム島根を開催しました。そして平成二十二年には結成五十周年の大きな節目を迎えました。

またその間には、三%、五%、六%の給与特例カットや人事異動ルールの変更、教職員評価制度や教員免許更新制の開始など教職員の勤務条件に関わる大きな動きがいくつもありました。その都度島教協は検討委員会等で意見を述べたり、文書等を提出したりするなどして要望・交渉活動を重ね、現場の声を届け続けました。

常に是々非々の立場で、子どもたちのためになるかどうかを判断基準として活動してきた島教協が果たしてきた役割は、とても大きかったのではないかと思います。そして島教協は今後もこの役割を果たし続けていく必要があると考えています。

しかし、今島教協は組織拡大が待ったなしの喫緊の課題となっております。平成二十六年度末で休職専従を廃止せざるを得なくなった後も、様々な工夫によって活動のレベルを下げることなく組織を維持してきましたが、このままの状況では、島教協の今後は非常に厳しいと言えます。これからの子どもたちや教職員のためにも、今が島教協の踏ん張り時です。

今年が亥年です。イノシシにちなんだことわざとして「猪見て矢を引く」というものがあります。これは事が起こってからでは遅いという意味だそうです。そうならないためにも、組織拡大に向けた取組へのご協力を重ねてお願いします。

また、亥年には動物の猪のイメージから、万病を予防するという意味もあります。これは、猪の肉に万病予防の効能があると信じられていることによりです。ここから、無病息災の意味が生じたそうです。会員の皆様の今年一年間の無病息災と、それぞれの立場での御活躍を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



平成31年度文部科学関係予算案 閣議決定される

12月21日、政府は平成30年度予算案を閣議決定し、公表した。

2019年度文部科学省関係予算編成(初等中等教育局関係)の概要 (抜粋)

教育政策推進のための基盤の整備

◎新学習指導要領の円滑な実施と学校における働き方改革のための指導・運営体制の構築

◆義務教育費国庫負担金

《教職員定数の改善》 合計 1,456人

1 学校における働き方改革 (加配定数) 計 1,110人

○教員の持ちコマ数軽減による教育の質の向上

・小学校の専科指導の充実 +1,000人

(小学校英語教育の早期化・教科化に伴う、一定の英語力を有し、質の高い英語教育を行う専科指導教員の充実)

・中学校生徒指導体制の強化 + 50人

○学校運営体制の強化

・学校総務・財政業務の軽減のための共同学校事務体制強化(事務職員) + 30人

・主幹教諭の配置充実による学校マネジメント機能強化 + 30人

2 複雑化・困難化する教育課題への対応 (基礎定数) 計 346人

・教育課題への対応のための基礎定数化関連 + 246人

(2017.3義務標準法改正による基礎定数化に伴う定数の増減)

発達障害などの障害を持つ児童生徒への通級指導の充実 + 348人

外国人児童生徒に対する日本語指導教育の充実 + 68人

初任者研修体制の充実 + 72人

※基礎定数化に伴う自然減等 - 242人

・貧困等に起因する学力課題の解消 + 50人

・「チーム学校」の実現に向けた学校指導体制の基盤整備(養護教諭、栄養教諭等) + 20人

・統廃合・小規模校への支援 + 30人

◆教員以外の専門スタッフ・外部人材の拡充

○部活動指導員の配置促進 9,000人 +4,500人増

○スクール・サポート・スタッフの配置促進 3,600人 + 600人増

○スクールカウンセラー(SC)の配置拡充(全公立小中学校への配置) 27,500校 + 800校増

○スクールソーシャルワーカー(SSW)の配置拡充(全中学校区への配置) 10,000人 +2,500人増

※ 予算案の詳細につきましては、http://www.mext.go.jp/a_menu/yosan/h31/1408722.htm ご覧ください

【全日教連中央情勢報告No. 25より】

文部科学省は2019年度概算要求において、新しい学習指導要領の円滑な実施や学校における働き方改革に向けて、学校の指導・運営体制の効果的な強化・充実に図るとして、2,615人の教職員定数の改善を目指した。

閣議決定された予算での教職員定数の改善は1,456人と、当初の予定を1,000以上下回る結果となったことは非常に残念である。しかし、直近5年をみると、平成26年度703人、平成27年度900人、平成28年度525人、平成29年度868人、平成30年度1,595人となっており、2年連続で、1,000人を超える改善がなされることになった。また、教員以外の専門スタッフ・外部人材の活用では、いずれの事項においても昨年度の実績を上回る配置が行われることになった。厳しい財政下において、これらの改善が実現したのは、全11次に亘る全日教連の要望活動及び、その声に応えるという文部科学省の強い思いがあったからこそである。

全日教連は、子供と向き合う時間を確保し、教育の質を向上させるために、引き続き、十分な教育予算が確保されるよう、関係省庁へ粘り強く要望活動を展開していく。

島教協相互援助規定のご紹介

- ①結婚祝金の給付 5,000円
 - ②出産祝金の給付 5,000円
 - ③永年勤続祝金の給付 5,000円
 - ④病気見舞金の給付 5,000円
(傷病約1ヶ月の療養)
 - ⑤災害見舞金の給付
(住宅又は家財の損害を受けたとき
程度に応じて)
 - ⑥死亡弔慰金
(会員・会員配偶者死亡)
- 上記の規定に該当するときは、
ご本人または学校代表は、
事務局まで連絡をお願いします。

島教協会員証特典のご紹介

- 「T・ジョイ出雲」劇場売店にて
(ゆめタウン出雲 東館3階)
- 「島教協会員証を提示する」と
- 売店人気ナンバー1の
ポップコーンセット
(通常750円)を
ワンコイン(500円)で
購入できます!
- ぜひ、
劇場売店へお立ち寄りください。
同伴者も同様の対応ができます。

新会員加入助成のご紹介

- ① 新規に会員が加入された場合
- 単組・支部と学校にそれぞれ
2,000円の加入助成金を支給します。
(講師会員の加入助成金は、単組・支部と
学校にそれぞれ500円です)
- ② 勧誘活動の助成
- 学校や専門部会において、新規に会員を
勧誘するための茶話会等を行われる場合
は、その経費の一部を助成します。
島教協事務局までご相談ください。